

図書館だより

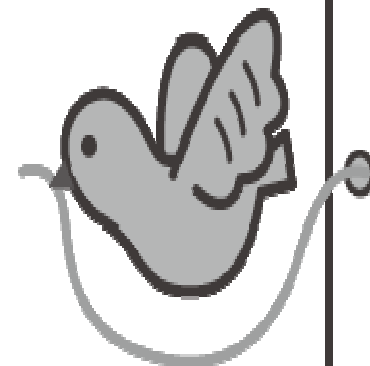
時の記念日



6月10日は・・・。
 時間の大切さを尊重する意識を国民にもってもらおうということで1920年に制定された「時の記念日」。
 待ってはくれない時間…。この日、時間を止めて、ゆっくり本を読んでみてはいかがでしょう？
 不思議の国のアリスに会いにいきませんか？

	日	月	火	水	木	金	土
6月	*	*	*	*	*	*	1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	*	*	*	*	*	*
7月	*	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	*	*	*

開館時間 10:00~18:00 ■は休館日



わすれものはありますか？

図書館には忘れ物がよく届きます。帽子や傘、文房具、図書館の本と間違えて返してしまった個人の本など。
 お心当たりのある方は、カウンターにおたずねください。

◆6月の定例おはなし会◆

開催日	行事名	時間	場所
1日(土)	おはなし会(幼児~小学生向け)	11:00~	和室
21日(金)	おはなし会 0・1・2	11:00~	おはなしのへや

*スタンプカードを持っている人は持ってきてくださいね!

~来ぶらりい~

6月というと、多くの皆さんが「梅雨」というイメージをお持ちなのではないでしょうか。私たちが暮らす長崎県も、間もなく入梅を迎えようとしています。

最近、異常気象の影響なのでしょうか、梅雨以外の季節でも観測史上で1時間あたりの最大雨量を記録した、というニュースや新聞記事をよく目にします。これから、特に雨の多い季節を迎えますので、いざというときに備え避難場所や避難経路などについて、再度確認しておきましょう。

さて、6月は「雨」の時期ですが、私が暮らす飯盛町の池下地区では、旧暦の5月5日を迎えるこの時期に、大漁や航海の安全、そして、子どもたちの健やかな成長を願い、伝統のペーロン大会が開催されます。この、「池下ペーロン大会」の一番の見所は、何と言ってもスタートです。「綱切り」という昔から伝わる方法なのですが、ほかでは見られない伝統のスタート方法ですので、是非、会場に足を運んでいただきご覧ください。今年は、6月16日日曜日に開催される予定のようです。

晴耕雨読といいますが、これからの時期、ますます皆さんのお役に立てるよう、充実した資料と職員が、森山図書館でお待ちしています。どうぞ、ご来館ください。

(副館長 佐田)

図書館員のひとりごと…

『きっちり・しとーるさん』

おの りえん 作・絵 / こぐま社

図書館司書の「しとーる」さんが主人公。書名どおり、起きる時間、出勤前の身支度、出かける際の火の元、戸締りの指差し確認、などなど、何事もきっちり、テキパキ。毎日、同じ時間に出勤するので、町の人々の時計代わりになっているほどです。図書館でもきっちりお仕事して、お尋ねにもささっとピッタリの本を差し出します。でも、きっちりし過ぎて、なんだか怖いと、図書館利用の方々が感じているようです。そんな「しとーる」さんが、雪の日に玄関前で汚れた赤ちゃん猫を拾うところから、話が変わってきます。片目は目ヤニがついてノミだらけ。やむを得ず家に入れますが、赤ちゃん猫を果たしてお世話できるのか？図書館勤務中はどう面倒をみるの？どこかロボットみたいな「しとーる」さんの心がほぐれて、人間味が出てくる様が楽しく読めます。

(T)



新しく入ったおすすめの本



■ 一般書

料理

『親が喜ぶ作りおきごはん』

今泉 久美 監修／主婦の友社

離れて暮らす親、介護未済やひとり暮らしの親の食事をサポートする人に向けて、塩分ひかえめ、たんぱく質たっぷり、冷蔵庫から出してすぐ食べられて、ラクに作れるレシピを紹介します。栄養士が教えるQ&Aも収録。

教育

『手で見るといのち』

柳楽未来 著／岩波書店

視覚障害の子どもたちが動物の骨を触って学ぶ生物の授業。それは教師たちの熱意から始まった。学ぶことの本質に触れる、新鮮な感動をよぶルポ。

歴史

『隼人の古代史』

中村 明蔵 著／吉川弘文館

古代南九州で独自の生業・文化を持って暮らしていた隼人。国家の支配に抵抗し蛮族とされた彼らを、朝廷は懐柔し、能力を生かして大嘗祭にも奉仕させた。都から遠く離れ、南島との交易にも従事した隼人の実像を解明する。

文学

『百花』

川村元気 著／文藝春秋

認知症と診断され、徐々に息子を忘れていく母と、母との思い出を蘇らせていく息子。ふたりには忘れることのできない“事件”があった。現代に新たな光を投げかける、愛と記憶の物語。

- 📖 『彼女たちの場合は』 (江國 香織 著／集英社)
- 📖 『路地裏の子供たち』 (ステュアート・ダイベ 著／白水社)
- 📖 『知らなきゃ損する農家の年金・保険・退職金』 (林田 雅夫著, 比良 さやか 監修／農山漁村文化協会)
- 📖 『折り紙の科学』 (萩原 一郎 著／日刊工業新聞社)
- 📖 『忘れない味』 (平松 洋子 編著／講談社)
- 📖 『長崎の痕(きずあと)』 (大石 芳野 著／藤原書店)
- 📖 『凶解巣箱のつくり方かけ方』 (飯田知彦 著／創森社)
- 📖 『極夜行前』 (角幡 唯介 著／文藝春秋)
- 📖 『おにぎりの文化史』 (横浜市歴史博物館 監修／河出書房新社)

■ 児童書

えほん

『そらまめくんとおまめのなかま』

なかやみわ 作／小学館

小さいさや、長いさや、柔らかさや、大きなさや…。そらまめくんたちが、さやのなかから元気に飛び出す! 赤ちゃんが喜ぶ擬音語が満載の、「そらまめくん」のファーストブック。

しらべもの

『ずかん こけ』

木口博史・古木達郎・著／技術評論社

身近だけどちゃんと見る機会は少ないこけの魅力を伝える。生育する場所別に、美しいこけを写真で紹介。こけが生える場所、分布、大きさ、生態域、レア度、学名などを掲載する。一部は動画も視聴できる。

よみもの

『十年屋2』

あなたに時をあげましょう』

廣嶋玲子・作 佐竹美保・絵／静山社

大切なものを10年間、魔法で預かる不思議なお店「十年屋」。魔法使いと執事猫のカラシのもとに、今日はどんなお客さんがやってくるでしょう。「銭天堂」の著者がおくる、心あたまる物語。

ティーンズ

『初恋まねき猫』

小手鞠るい・著／講談社

中学2年の龍樹は、春休みにスキーで足を骨折し、新学期早々学校を休んでいた。すると、部屋の窓から突然猫が現れ、そのしなやかな動きに龍樹は心を奪われる。そして、ずっと忘れていた絵を描きたい気持ちを思い出し…。

- 📖 『物語たくさんのお月さま』 (ジェームズ・サーバー 文／ルイス・スロボドキン 絵／徳間書店)
- 📖 『かわいいパッケージクラフト 1』 (平田美咲 著／汐文社)
- 📖 『てんしき らくごえほん』 (川端誠 作・絵／KADOKAWA)
- 📖 『魔法使いたちの料理帳』 (オーレリア・ポーポミエ 著・田中裕子 訳／原書房)
- 📖 『数え方図鑑』 (やまぐちかおり 絵／日本図書センター)
- 📖 『はだかのおうじさま』 (くすのきしげのり さく・澤野秋文 絵／フレーベル館)